

形成外科

形成外科手術内訳

単位：件

区 分	2017年
新鮮熱傷(全身管理を要する非手術例を含む)	17
顔面骨折および顔面軟部組織損傷	58
唇裂、口蓋裂	0
手・足の先天異常、外傷	35
その他の先天異常	20
母斑、血管腫、良性腫瘍	206
悪性腫瘍およびそれに関連する再建	82
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	16
褥瘡、難治性潰瘍	23
美容外科(レーザーは含まない)	0
その他	139
合 計	596

形成外科レーザー及び光線治療内訳

単位：件

治療機器	2017年
CO ₂ レーザー	22
Q-switched YAGレーザー	31
レーザー・トーニング	4
フォトフェイシャル	2

手術分類変更の為、以下2018年度分から

形成外科手術内訳

単位：件

区分	2018年	2019年	2020年	2021年度
外傷	90	88	81	80
先天異常	14	31	24	14
腫瘍	336	389	343	391
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	9	15	19	7
難治性潰瘍	39	15	43	28
炎症・変性疾患	111	83	73	84
その他	31	32	32	30
合計	630	653	615	634

形成外科レーザー及び光線治療内訳

単位：件

治療機器	2018年	2019年	2020年	2021年度
CO ₂ レーザー	7	8	8	9
Q-switched YAGレーザー	21	15	8	13
レーザー・トーニング	3	4	4	10
フォトフェイシャル	0	0	0	0

それぞれの対象疾患は以下の通り

- CO₂レーザー：黒子、老人性疣贅、汗管腫などの小隆起性病変
- Q-switched YAGレーザー：シミ(老人性色素斑)、アザ(太田母斑、異所性蒙古斑、扁平母斑)、刺青(外傷性、コスメティックを含む)
- レーザー・トーニング、フォトフェイシャル：シミ(老人性色素斑、肝斑)